

さかいまち 議会だより

No. 172

平成27年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会
〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873
ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

平成27年9月関東・東北豪雨により被災された皆様にお見舞い申し上げます。

境町議会

目次

9月定例会 決算特別委員会…………… P 2

議決事項…………… P 3

人事案件・請願・陳情…………… P 4～5

一般質問…………… P 5～8

平成27年 第3回定例会

9月8日～9月15日（8日間の会期）

全議案・原案可決

決算特別委員会報告

開会初日（9月8日）本会議に提案された平成26年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員11名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月14日に開催され、慎重に審査をした結果いづれの会計とも認定すべきものと決定し、9月15日の本会議において委員長の報告のとおり、全会一致をもって認定されました。



決算委員会を進行する
須藤 信吉委員長

平成 26 年度各種会計決算状況

会計区分	区分	歳入決算額	歳出決算額
境町一般会計		81億2,405万5,631円	78億5,040万4,635円
坂東市外2か町公平委員会特別会計		95万550円	41万7,561円
境町国民健康保険事業特別会計		31億8,706万9,729円	31億1,410万9,584円
境町後期高齢者医療事業特別会計		4億1,359万3,740円	4億1,167万5,123円
境町介護保険事業特別会計		17億2万9,641円	16億6641万3397円
境町公共下水道事業特別会計		8億1,958万5,356円	7億9,344万183円
境町農業集落排水事業特別会計		2億3,578万9,574円	2億1,856万3,713円
合計		144億8,107万4,221円	140億5,502万4,196円

平成 26 年度水道事業決算状況

水道事業会計	収益的収入	収益的支出
	5億7,924万7,859円	6億892万2,523円
	資本的収入	資本的支出
	112万8,000円	1億2,411万5,183円

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額122,987,183円は、減債積立金18,222,285円、過年度損益勘定留保資金96,754,005円及び、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,010,893円で補てんした。

監査報告

平成26年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計については、監査委員の決算監査が行われ次のとおり報告がありました。



斉藤 政雄
監査委員

○一般会計及び特別会計

審査に付された各会計の決算書類は、いずれも地方自治法、その他関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸計数は、関係諸帳簿及び証憑書類と符合し、正確であると認める。

平成27年8月25日

境町監査委員 斉藤 政雄

○水道事業会計

帳簿は正確に記録されており、諸表の計数も非違はなく、当該年度の事業執行について、すべての財源とその使途及び年度末における財政状態を適正に表示しており、合法かつ正確と認める。

平成27年5月25日

境町監査委員 鈴木 眞吾

木村 信一

報告

○平成26年度境町財政健全化判断比率の報告について

○平成26年度境町公営企業資金不足比率の報告について

審査に付された、健全化判断比率及び資金不足比率について算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成しているものと認める。

また、算定の結果、健全化判断比率は依然として厳しい財政状況が続くと思われるので、より一層の財政健全化と経営健全化に努められるよう要望した。

条例制定・改正

○境町個人情報保護条例の一部を改正する条例案について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、境町個人情報保護条例の一部を改正するもの。

○境町手数料徴収条例の一部を改正する条例案について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、個人番号の通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料について規定するとともに、住民基本台帳法の一部が改正されたことに伴い、住民基本台帳カードの交付に係る境町手数料徴収条例の一部を改正するもの。

○岩井・境都市計画境町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部を改正する条例案について

平成27年3月19日に公共下水道事業計画区域拡大の認可を受けた第4負担区について、岩井・境都市計画境町公共下水道事業受益者負担金の額を定めるために条例の一部を改正するもの。

道路線の認定・変更について

○町道路線の認定について

境町大字長井戸・大字西泉田地内において、圏央道事業に伴い町道が分断され機能補償道路の早期開通要望があり先行して新たに町道路線を認定するもの。

町道1799号線

- ・起点・終点 長井戸字中坪1445番3地先～同所1452番1地先
- ・幅員 6m～6m
- ・延長 129m

町道2979号線

- ・起点・終点 西泉田字上ノ原1276番1地先～同所1231番1地先
- ・幅員 6m～9・8m
- ・延長 530m

○町道路線の変更について

境町大字長井戸地内において、圏央道事業に伴い当該路線の一部が起業地内に含まれたことから起点終点の変更されたため、町道路線の区域を変更するもの。

変更前

町道2030号線

- ・起点・終点 長井戸字元香取413番3地先～西泉田字上ノ原1234番1地先
- ・幅員 2・5m～6m
- ・延長 926・8m

変更後

町道2030号線

- ・起点・終点 長井戸字中屋敷445番4地先～長井戸字ビハ砂6番3地先
- ・幅員 2・5m～6m
- ・延長 445m



補正予算

平成27年度各会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計	81億9,446万4千円	1億7,687万3千円	83億7,133万7千円	
特別会計	国民健康保険事業	38億93万5千円	2,343万5千円	38億2,437万円
	介護保険事業	17億9,855万9千円	3,567万1千円	18億3,423万円
	公共下水道事業	9億1,524万7千円	1,140万円	9億2,664万7千円
	農業集落排水事業	2億4,020万円	624万円	2億4,644万円

人事案件

○境町監査員の選任につき同意を
求めることについて
(即日原案同意)

古河市小堤
山本 隆行



請願・陳情

○教育予算の拡充を求める請願に
ついて

請願者

水戸市笠原町978番地46

茨城教育会館2階

茨城県教職員組合

代表 吉田 豊

○TPP（環太平洋連携協定）交
渉に関する請願について

請願者

境町大字長井戸23番地

茨城むつみ農業協同組合

代表理事組合長 青柳 初男

○気象事業の整備拡充を求める意
見書の提出を求める陳情につい
て

陳情者

茨城県水戸市金町1-4-6

水戸地方気象台内

国土交通労働組合

関東中部気象支部

水戸分会分会長 海野 俊幸

○「安全保障関連法案の廃案を求
める意見書」の提出を求める陳
情について

陳情者

境町大字塚崎772番地10

9条の会さかい

世話人代表 大竹 勉

境町2190番地

茨城厚生労働組合西南支部

支部長 菅谷 一成

意見書の提出

政府関係機関へ次の意見書を提
出した。

○教育予算の拡充を求める意見書

1. きめ細かな教育の実現のため
に少人数学級を推進すること。
 2. 教育の機会均等と水準の維持
向上をはかるため、その根幹
となる義務教育費国庫負担制
度を堅持すること。
 3. 震災からの教育復興のための
予算措置を継続して行うこと。
- 提出先 内閣総理大臣ほか4名

○TPP（環太平洋連携協定）交
渉に関する意見書

1. 農林水産分野の重要5品目な
どの聖域の確保を最優先し、
交渉脱退も含め衆参両院の農
林水産委員会における国会決
議を遵守すること。
 2. 交渉により収集した情報につ
いて、国民に十分な情報開示
を行なうこと。
- 提出先 内閣総理大臣ほか6名

○気象事業の整備拡充を求める意
見書

1. 自然災害から人命を守るため、気象庁及び水戸地方気象台の人員、予算を増やし、気象観測や予報などの基盤が強化されることを求めます。

《提出先》内閣総理大臣ほか5名

○安全保障関連法案の廃案を求める意見書

1. 戦闘地域に自衛隊が出て行き、弾薬補給、武器輸送などの兵站を行う。
2. 形式上は停戦合意はなされているが、なお戦乱が続いているところに自衛隊を派兵し、治安維持をさせる。
3. 集団的自衛権を行使する。

これらは、米国の戦争に武力行使をもって参戦するものであります。多数の国民の声を無視した法案の強行成立は、国民主権の大原則に反します。

提出先 内閣総理大臣ほか4名

一般質問

4人の議員が登壇しました

議席12番

内海 和子 議員



○マイナンバー制度について
Q マイナンバー制度については広報紙で取り上げてあるが、説明が不十分ではないか。個人情報漏えいが懸念されるので、もう少し丁寧な説明が必要なのではないか。
A 10月より12ケタの番号がふられるが、これは税務署や健康保険組合が持っている個人情報と本人かどうか確認するもので、納税、社会保険関係、防災などの事務手続き等のサービスの向上を図るものであります。また、町としても運用にあたり本人確認の徹底とシステムのセキュリティ強化に努めます。今後パンフレットを作成し各戸に配布します。

(総務部長)

Q 配布するだけでなく、説明がほしいが。
A 行政懇談会などで説明していきたい。
 (町長)

○教科書採択について

Q 来年度から導入される中学校の新しい教科書の選定がされたと思うが、どのような考えのもとに選定したのか。

A 茨城県では11地区の教科書選定協議会があり、境町は11地区(古河市、坂東市、常総市、五霞町、境町で構成)になる、その協議会で決められたものを、境町教育委員会で決定した。
 (教育長)

Q 境町独自で決めることはできないのか。

A 今回から教育委員会が町執行部下になったのでお答えするが、教育創生会議もやった。11地区での教科書で坂東市などは成績を伸ばしている。教科書の問題でなく、教え方と学校方針をしっかりとっていくことが大事ではないか。
 (町長)

議席10番

田山 文雄 議員



○自転車マナー等の向上について

Q 道路交通法改正に伴い社会全体で自転車マナー等の向上を推進していく事が、重要であると思つが当町の取り組みについて。

A 関係団体の協力を得ながら自転車運転マナーの取り組みや交通安全対策を推進していきたい。
(総務部長)

○動物愛護について

Q 動物愛護の精神の啓発や積極的な取り組みが必要であると思つが当町の取り組みについて。

A 法律や県条例により飼い主のマナーモラルの向上にむけて広報活動等による取り組みを行い、こ

れからも小さくても尊い命を大切にしていける事で人と動物が共存できる地域づくりを目指していきたい。
(防災安全課長)

○有権者の投票率向上の取り組みについて

Q 有権者の投票率が低下傾向にあるなか、当町としての取り組みについて。

A 投票環境における制約をできるだけ解消改善して利便性の向上に努めていきたい。
(総務部長)

議席4番

櫻井 実 議員



○子ども子育て支援新制度について

○待機児童について

Q 現在、本町に待機児童はいるのか。発生した場合どのように対処するのか。

A 現在、待機児童はいないが、将来待機児童が生じた場合、保育に空きのある保育所等に入つて貰つて新年度から希望の保育所等に入所出来るように対策を考えている。
(子ども未来課長)

Q 育児休暇を取得した場合、本町は、待機児童がいないので、保育所等の受け入れに余裕があるだろうからすでに入所中の児童を退所させずに継続保育ができないか。

A ルールに則り運用するが、すべての対象者が退所でない。それぞれの家庭の事情もあり、保護者を交えて状況を確認してケースバイケースで判断して行く。
(子ども未来課長)

Q 病児保育は出来ないか。

A アンケート結果からは、児童が病気の場合、6割の保護者が自分で面倒を見たいと回答している。しかし、希望する保護者もあり受け入れていただける施設があれば

前向きに検討する。

(町長)

○道の駅「さかい」について
○駐車場について

Q 第1駐車場に横断歩道、バイクの駐車場は設置できないか。

A 来年度に大規模リニューアルを予定しており、横断歩道、バイク等の駐車場の改修も考えている。本年度は、直売所等プチリニューアルし、トイレは改築を予定している。
(町長)

Q 第2駐車場から施設利用が不便であるが、対策は。

A 県道17号線を跨いでおり、施設利用が不便であり、コンビニ等検討した。道の駅「さかい」は、国と自治体の一体型の管理施設であり、町が勝手に変更できないが、来年度の大規模リニューアル時に合わせて検討したい。
(町長)

Q 圏央道の開通、国道354号線バイパス予定もあり、ふれあいの里近傍に第2の道をつくる考えは。

A 現在の道の駅を中心に河岸の町としての観光開発に取り組んでいる。354バイパス付近は、防災拠点とか町民のコミュニティの場などの別な取り組みを検討したい。

(町長)

Q 外国産のB級品の野菜を生産者が出品時に何故、競合して販売するのか。

A 目玉商品として地域の会社から提供を受け販売しているが、生産者とバッティングしないように注意をする。売り上げ至上主義ではない。

(町長)

Q 地域連携機能としての高瀬舟、サイクリング自転車、セグウェイ、バーベキューハウスの利用状況は。

A 始まったばかりの事業もあるが、高瀬舟162名、自転車11名、セグウェイ54名、バーベキューハ

ウス239名の方にそれぞれ利用していただいた。老若男女、家族連れ等みんなが楽しめる事業も検討したい。

(副町長)

議席13番

木村 信一 議員



○太陽光発電事業について

Q 茨城さかいソーラー株式会社について。

A 昨年8月に町が100パーセント出資の「茨城さかいソーラー株式会社」を設立しました。総事業費は出資金5千万円(ウエルシア創業家鈴木様からの寄付金)借入金4億7,400万円合計5億2,400万円です。設置箇所は町内34箇所であり、平

成28年3月にすべて完成予定です。今後は事業が完了時に計画書を策定し町民の方にご報告いたします。

(町長)

○職員の管理について

Q 現在の職員数及び非常勤職員数は何名か。

A 平成27年4月1日付職員数は218名です。非常勤職員122名です。

(副町長)

Q 職員数の削減により町民に対してのサービス低下にならないか。

A 本年の3月の退職者が多く見込まれたことから、二次募集を実施し、7名を採用しました。現在は元職員の方のお力をお借りしているのですが、サービスの低下にはならない。今、町が抱える大きな課題の一つは、職員を育てるといったことです。今後は職場環境が整うにつれ職員自らが提案し実施していく事業が増えていくと確信しています。

(町長)

○環境問題について

Q 町内3か所(森戸小学校付近、新古河変電所南側、栗山地区)に積まれた建設残土について。

A 建設残土については、「境町土砂等による盛土、及び堆積の規制に関する条例」に抵触するおそれがあるため防災安全課、県廃棄物対策課、県西県民センター及び警察署の協力を得ながら指導してまいりましたが、現在に至っていないのが現状であります。今後も地元の方を始め関係機関と連携を密にしながら対応して行きたいと考えています。

(総務部長)

Q 大型車両による町道破損について。

A 現在の対応状況は安全な通行を確保するため早急な復旧が必要な箇所は町が補修をおこなっているところです。町としても残土搬入業者に再三にわたり道路の補修を要請しているところであります。

(建設農政部長)

議会活動

災害ボランティア活動する議員



長井戸沼土地改良区被害状況視察



古河市宮戸川決壊地点視察



防災服による定例会最終日



平成27年第1回 境町臨時会審議結果

平成27年8月12日開会

○工事請負契約の締結について

(即日原案可決)

境町サッカー場人工芝生化・

照明設備新設工事

○境町議会会議規則の一部を改正

する規則案について

(即日原案可決)

第4回定例会のお知らせ

月 日	議 事
12月4日(金)	本会議 (開会, 提出議案上程・説明)
12月5日(土)	休 会 (休日)
12月6日(日)	休 会 (休日)
12月7日(月)	本会議 (一般質問)
12月8日(火)	本会議 (一般質問, 総括質疑, 議案等の委員会付託)
12月9日(水)	常任委員会 本会議 (委員長の報告, 委員長報告に対する質疑, 討論, 採決)

◎広報編集委員会

委員長 山田 正樹
副委員長 青木 輝明
委員 齊藤 政雄
委員 内海 和子
委員 渡邊 昇